

経営比較分析表（令和4年度決算）

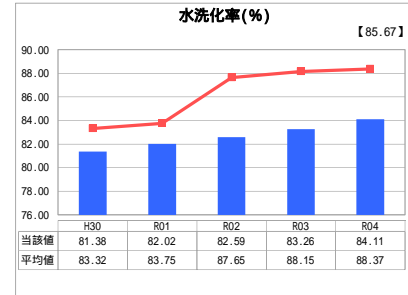
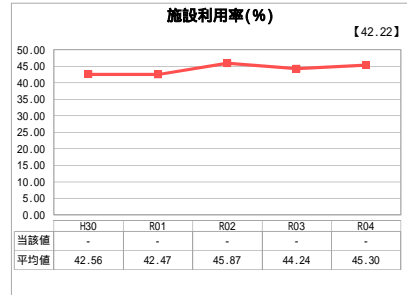
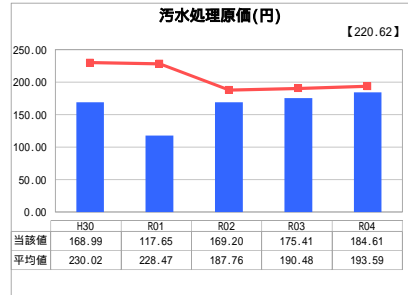
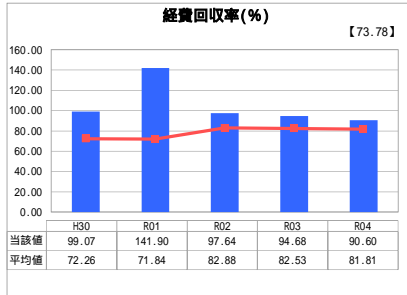
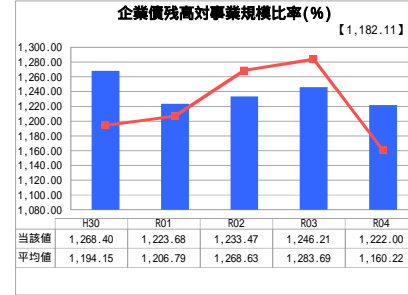
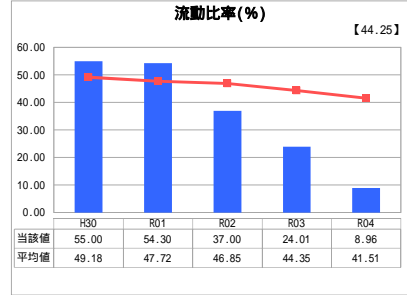
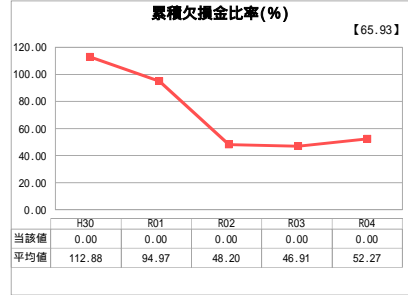
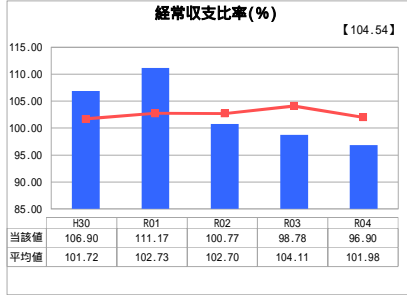
兵庫県 三木市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	45.16	10.82	96.47	2,640

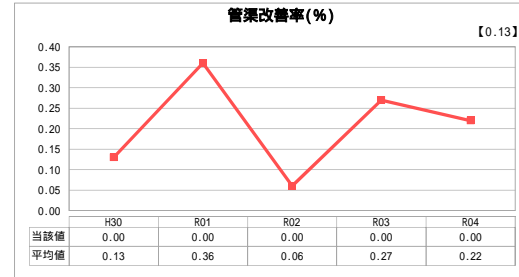
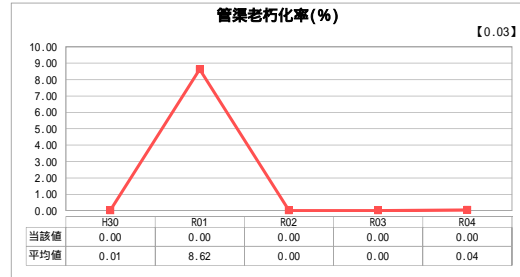
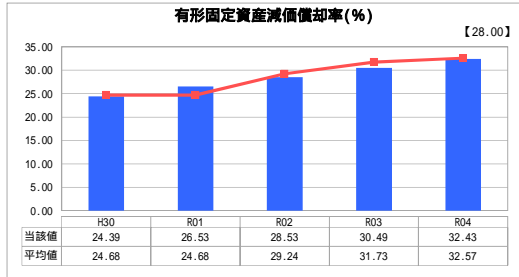
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
74,872	176.51	424.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,053	4.96	1,623.59

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、100%を切っており、類似団体平均も下回っているため、今後100%を超える値に回復するよう、経営改善に向けた取り組みが必要である。

累積欠損金は発生していない。

流動比率は、類似団体平均を下回り100%を大きく切っており、現金預金が十分に確保されているとは言えない。

企業債残高対事業規模比率は、令和4年度類似団体平均を上回っている。

経費回収率は、類似団体平均を上回るが100%未満であり、今後の人口減少に伴う使用料収入の減少を見据え、引き続き経営の効率化を進めていく必要がある。

汚水処理原価は、類似団体平均より下回っているがその差は縮まっており、今後の使用料収入の減少を見据え、更なる経営の効率化に努める必要がある。

特定環境保全公共下水道では単独の処理施設を有していないため、施設利用率の該当はない。

水洗化率は、類似団体平均を下回っているため、未整備地解消に向けた取り組みが必要である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は類似団体平均を下回っており、特定環境保全公共下水道については、下水道整備に着手してからの経過年数が短いため、管渠の老朽化も見受けられない。

全体総括

類似団体と比較すると、水洗化率が類似団体平均より低いため、未整備地解消に向けて継続して取り組む必要がある。

また、経常収支比率及び流動比率が100%を下回っていること、今後人口減少に伴いさらに使用料収入が減少すること等から、将来見込まれる資金不足が生じないように、引き続き効率的な運営を推進していく必要がある。

「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。